



希 望

令和5年10月3日
第9号

一生懸命！！

9月22日（金）に予定していた持久走大会を26日（火）に延期し、素晴らしい天候の下で実施しました。私はゴール付近で、みんなのゴールする様子を見ていましたが、どの子も一生懸命走り、いい顔をしてゴールをしており、全員が力を出し切ったということがその表情からも分かりました。ゴールが見えて更にスピードを上げる子、ゴールした瞬間に座り込む子など、本当に感動するいい場面を見させてもらいました。1位になった子はそれだけです素晴らしいですが、1位になれなくても、一生懸命最後まで走り切ったことに価値があると思います。



さて、今年の夏、私は印象に残ったこととして第105回全国高等学校野球選手権記念大会（夏の甲子園大会）があります。107年ぶりに慶應義塾高校が優勝をして幕を閉じましたが、その高校生たちの様子に今までと違う感覚を覚えました。それは、見ていたほとんどの人たちが感じたのではないのでしょうか。エンジョイ・ベースボールを前面に出し、楽しみながら野球に取り組む姿は新しい高校野球の在り方を示したのかもしれませんが。また、森林貴彦監督は「シンキング・ベースボール」と言い、上から言われたことをそのままやるのではなく、自分たちで考えて野球をすることの大切さを話しています。では、本当に楽しいだけで全国の高校野球の頂点に立てたのでしょうか。

私は楽しいだけではなかったと思います。楽しくなるまでには、つらいことや苦しいことも必ずあったはず。一生懸命取り組み、それを乗り越えたからこそ、真の楽しさを味わえるようになったはず。森林監督の言う「自分で考えてやる」というのは、一見楽そうですが、監督から言われたことをやった方が、何も考えなくていいわけですから実は楽なのです。自分たちで考えるということは、「本当にこれでいいのだろうか」とか「ほかにいい方法があるのではないだろうか」など、常に不安が付きまとい、試行錯誤しながらやっていかなければなりません。また、時には、選手同士で議論をして正解を見付け出さなければなりません。そう考えると、非常に時間が掛かるやり方だと思います。しかし、自分たちが必死で考えて取り組んだことは、間違いなく身に付くはず。その積み重ねが、結局楽しさに変わり、頂点にも立てた要因だと思います。

皆さんの持久走大会への取組も、あの大会にたどり着くまでには様々なことがあったと思います。当然、タイムを縮めるために練習を積み重ねてきたでしょう。さらに、速く走るためにどうすればいいか、一生懸命考えた人もいたのではないのでしょうか。甲子園大会と規模は違いますが、その大会に取り組む姿勢は、変わりはないと思います。また、このことはスポーツに限ったことではなく、勉強や学校生活などでも同じことがいえます。



自分で考え、一生懸命取り組むこと。このことを忘れずにこれからの生活に生かして行ってほしいと思います。（文責：校長）

ゴールまで走り切りました！ 持久走大会

小学部2年

ぼくの目ひょうは、歩かずに走って、4分30びょうをきることでした。走っているときは、自分でも、今日はちょうしがいいな、と思っていました。ゴールしたら、いつもよりきろくがよくなっていたのでうれしかったです。



小学部4年

私の目ひょうは、気をめかず走り切ることでした。その目ひょうは達成できました。

本番では、さんを追いこしたり追いこされたりして、いっしょに1位でゴールしました。去年は4分53秒で百絵さんに10秒差で負けましたが、今年は同じタイムで二人とも新記録でした。本気が出せてよかったなと思います。

小学部5年

僕は、長距離を走るのには苦手でした。後半になると疲れてばててしまい、タイムが遅くなってしまいました。そこで、呼吸の仕方を変えてみました。鼻で2回、口で2回はくことを続けてみたら、後半ペースを保つことができました。

おかげで、自己ベストのタイムを出すことができました。このことを他の種目でも生かしたいです。



小学部6年

ぼくは、今までの練習の成果をすべて出すつもりでスタートした。みんなに応援されているのでいつもより体が軽かった。でも、コースの途中の坂が辛い。その時、磯部先生が教えてくれた「うでをよくふる」というポイントを思い出した。それで、順調に走り続けることができた。ゴール前まできたらみんなとお母さんが応援しているのが見えた。力をふりしぼって3位でゴールした。やった！最高記録が出た。

中学部1年

最初の練習は、スタートからゴールまでの道を知ることでした。去年も走った場所なので、緊張することはありませんでした。2回目の練習では、実際にコースを走りました。作戦もなく、ただ走りました。3回目の練習では、作戦を立てて、下り坂を思いっきり走るようにしました。

本番では、自然と全部を全力で走っていました。みんなにつられて、全力を出したい気持ちが、自然とわいてくることに気が付いた大会でした。



中学部3年

今回は僕にとって、中学校生活最後の持久走大会でした。そして目標にしていた『今年の記録を超える』を達成することができました。持久走大会に向けての日々の練習を通して、継続して努力する力を養えたと思います。そして、目標を達成することの喜びも味わうことができました。これから新たな目標ができた時にも、それを達成するために、努力を続けていきたいです。